

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【公表番号】特表2004-528434(P2004-528434A)

【公表日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2004-036

【出願番号】特願2002-573860(P2002-573860)

【国際特許分類】

C 08 L 69/00 (2006.01)

B 32 B 27/36 (2006.01)

C 08 L 51/00 (2006.01)

C 08 L 67/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 69/00

B 32 B 27/36 102

C 08 L 51/00

C 08 L 67/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成19年5月18日(2007.5.18)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0084

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0084】

前記化合物の例は、酸化物、水酸化物、水和酸化物、硫酸塩、亜硫酸塩、硫化物、炭酸塩、炭化物、硝酸塩、亜硝酸塩、窒化物、ホウ酸塩、珪酸塩、リン酸塩、水素化物、亜リン酸塩またはホスホン酸塩であり、例えば、TiN、TiO<sub>2</sub>、SnO<sub>2</sub>、WC、ZnO、Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、AlO(OH)、ZrO<sub>2</sub>、Sb<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、SiO<sub>2</sub>、酸化鉄、Na<sub>2</sub>SO<sub>4</sub>、BaSO<sub>4</sub>、酸化バナジウム、ホウ酸亜鉛、およびシリケート(例えば、Alシリケート、Mgシリケート、並びに一元系-、二元系-および三元系-シリケート)を包含する。混合物およびドーピングされた化合物も使用して良い。これらのナノスケール粒子は、その表面を有機分子で更に変性して、ポリマーとのより良好な相溶性を達成してもよい。疎水性または親水性表面がこの方法で生成され得る。